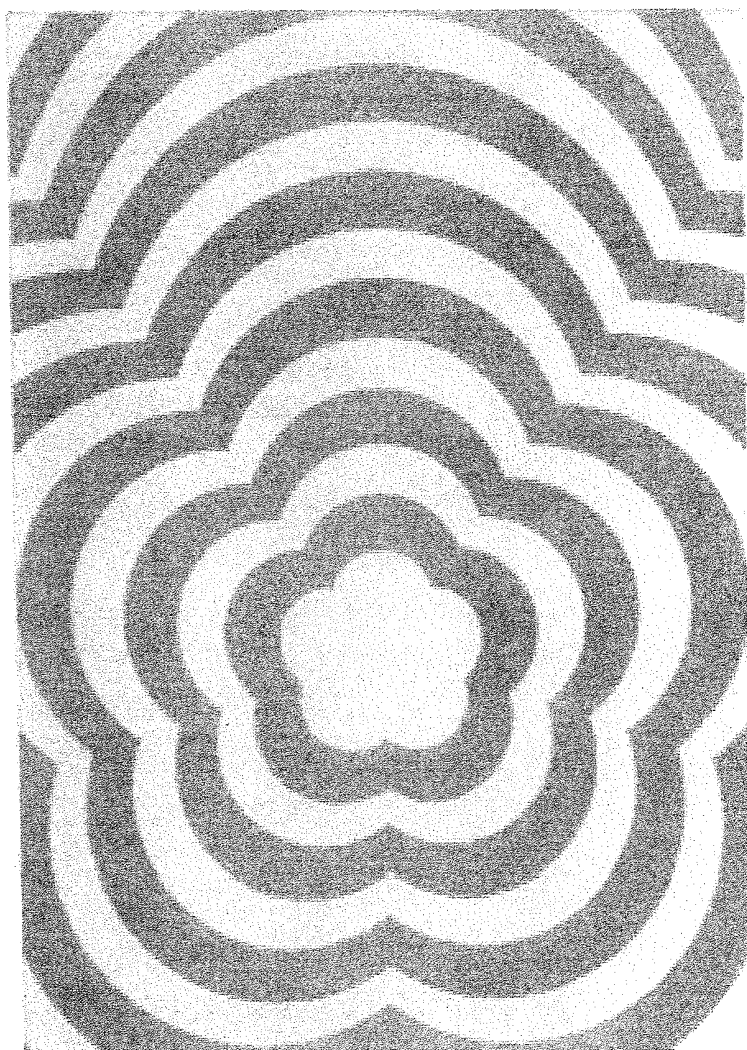


東北女子大学

平成24年度
公開講座・出前講義等

活動報告書



目 次

1. 地域資源活用研究センター
平成24年度活動報告書の作成にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2. 公開講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - 青森県産食品が消化機能に及ぼす効果
 - 育てて食べよう野菜食育クッキング ～収穫から食卓まで～
 - おさかな食育クッキング ～旬の魚いただきます♪～
 - 染色講座 ～身近な材料で布を染めよう～
 - 染色講座 ～いも版染めのミニテーブルセンターを作ろう～
 - ミシンにチャレンジ ～オリジナルエコバックをつくろう～
 - CADにチャレンジ ～簡単なスカートをつくろう～
 - 歌い継ぎましょう 童謡・唱歌を その8
 - 気分爽快！リズムでワクワク ～心も体もリフレッシュ～
 - 親子でパソコン体験講座 ～パソコンで絵本を作ろう～
 - 学都ひろさき 6大学公開講座 一他大学との共同開催一
3. 出前講義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
 - 黒石からの伊勢参り
 - 弘前藩江戸藩邸の人々
 - コミュニケーション力を高めるために
 - 南黒地区学校給食協議会 学習会
 - 「学校栄養職員研修講座」及び「栄養教諭研修講座」
 - 音楽研修講座
 - 幼・児童教育実技講座
 - 「平成の寺子屋」
 - 食に関する講話
 - 津軽における寺社参り
 - 津軽地方の特産品を活用した商品開発
 - 遺伝子組み換え食品の安全性について
 - 食育クッキング
 - 食や健康に関する講話
 - お口の健康講座
 - 食や健康に関する講話
4. 自治体・各種団体などとのタイアップ事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
 - 若者層向け惣菜パンの開発
 - 家政学科作品展 めくもり
 - 減塩粘性しょう油の試飲とその利用

地域資源活用研究センター 平成24年度活動報告書の作成にあたって

地域資源活用研究センター

センター長 西山 邦 隆

平成24年度（平成24年4月～平成25年3月）間に実施された、「公開講座・出前講義等」の概要記録を冊子として纏めました。

従来、これらの行事は各学科や研究室、個人で区々に行われていたのを今年度からセンター行事として一括し実施しましたが、その結果は公開講座開催19回、受講者は延べ367名に、出前講義は14機関に招かれ、受講者数900名以上と、地域の要望に応えることができました。

関係の方々に深く感謝するとともに、この行事を今後とも発展させていく所存ですので、一層の協力をお願いする次第です。

平成25年3月

公開講座

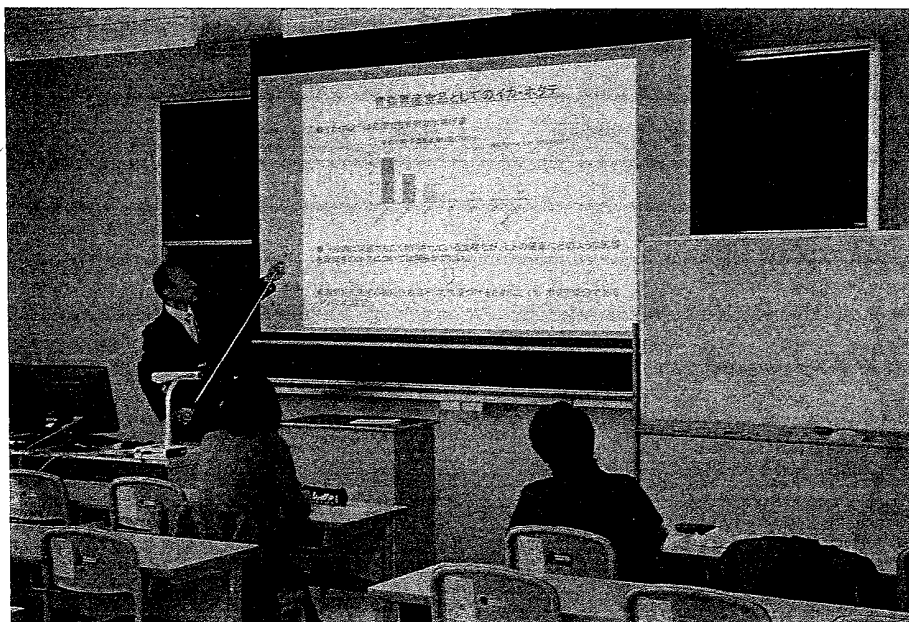
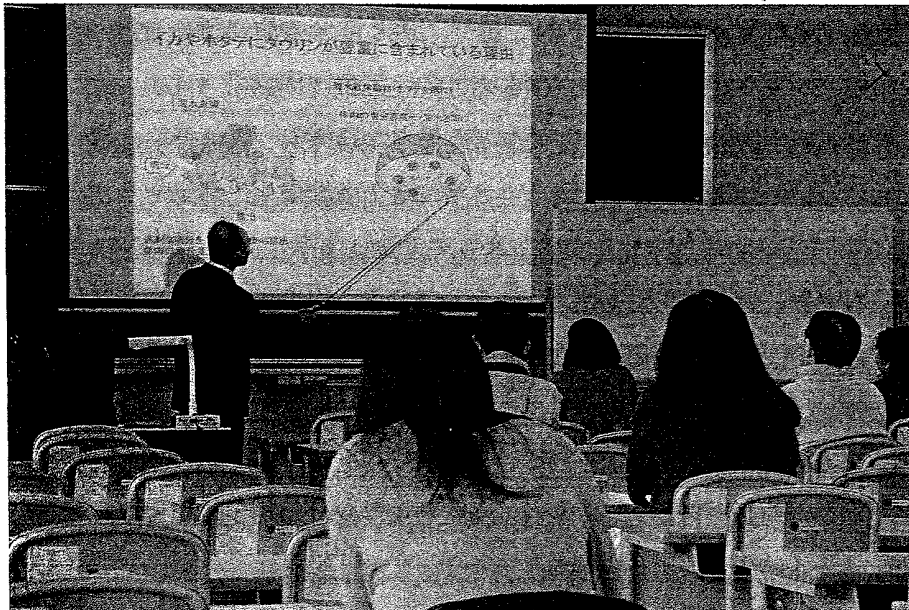
- 青森県産食品が消化機能に及ぼす効果
- 育てて食べよう野菜食育クッキング ～収穫から食卓まで～
- おさかな食育クッキング ～旬の魚いただきます♪～
- 染色講座 ～身近な材料で布を染めよう～
- 染色講座 ～いも版染めのミニテーブルセンターを作ろう～
- ミシンにチャレンジ ～オリジナルエコバックをつくろう～
- CADにチャレンジ ～簡単なスカートをつくろう～
- 歌い継ぎましょう 童謡・唱歌を その8
- 気分爽快！リズムでワクワク ～心も体もリフレッシュ～
- 親子でパソコン体験講座 ～パソコンで絵本を作ろう～
- 学都ひろさき 6大学公開講座 一他大学との共同開催一

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 青森県産食品成分が消化機能に及ぼす効果
担当者名	土 谷 庸
主催（依頼） 団体等	東北女子大学
実施日時	平成 24年 11月 10日（土曜日） 10:20 ~ 11:20 まで
実施場所	東北女子大学 視聴覚室
対象者の内容 及び参加人数	一般（10名）他、本学教職員、学生
講座・講義 内容の概略 （費用等も）	<p>1. 青森県産海産物であるイカ・ホタテ成分のタウリンに注目し、小腸グルコース吸収に及ぼす影響を説明</p> <p>2. サケ鼻軟骨由来プロテオグリカンの消化管での吸収機序について説明</p> <p>費用なし</p>
この行事に 関する感想 （センター行 事全体に関し てでも良い）	<p>可能であれば、市内のみならず県広報での事前紹介を行えればと思います。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。



平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 育てて食べよう野菜食育クッキング
担当者名	今村麻里子、前田朝美、花田玲子、山田和歌子
主催（依頼） 団体等	東北女子大学
実施日時	平成24年 6月23日（土曜日） 10:00 ～ 13:00 まで
実施場所	東北女子大学 食育ファームおよび調理学実習室
対象者の内容 及び参加人数	内容：野菜を育てて料理することで、食と自分の体に関心を持つ心を育てる 人数：保護者とその子ども4組（子ども7名・保護者4名）
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>講座の実施形態は植付けや収穫などの簡単な農作業と収穫野菜を用いた調理を1回の講座で行えるものとした。親子1組につき学生を1名配置し、活動をサポートした。食育クッキングの献立は「子どもにも大人にも楽しんでもらえること」を意識して採用した。「こねる」作業は幼児にもでき、大人でも楽しむことができるため、複数回で取り入れた。参加の前後にアンケートを行い、講座受講後の参加者の野菜に関する意識の変化の有無を評価した。</p> <p>1回目目の内容</p> <p>植付け：苗の植付け なす・ピーマン・オクラ</p> <p>観 察：葉の形や花の色を観察 すいかやかぼちゃの雄花と雌花の違いなど</p> <p>調 理：ロールパンサンド、トマトジュース</p> <p>参加者は苗の植付けを体験後、食育ファーム内の野菜の様子を観察した。その後、調理に用いるきゅうりを収穫した。調理学実習室へ移動し、手洗い・消毒をすませて料理教室へと移行した。</p> <p>費 用：調理材料費 3,294 円 食育ファーム経費：18,718 円</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 育てて食べよう野菜食育クッキング
担当者名	今村麻里子、前田朝美、花田玲子、山田和歌子
主催（依頼） 団体等	東北女子大学
実施日時	平成24年 7月28日（土曜日） 10:00 ～ 13:00 まで
実施場所	東北女子大学 食育ファームおよび調理学実習室
対象者の内容 及び参加人数	内容：野菜を育てて料理することで、食と自分の体に関心を持つ心を育てる 人数：保護者とその子ども4組（子ども7名・保護者4名）
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>講座の実施形態は植付けや収穫などの簡単な農作業と収穫野菜を用いた調理を1回の講座で行えるものとした。親子1組につき学生を1名配置し、活動をサポートした。食育クッキングの献立は「子どもにも大人にも楽しんでもらえること」を意識して採用した。今回は何の野菜が入っているかをクイズにしたシフォンケーキを用意し、試食しながら考えてもらい興味をもってもらえるよう工夫した。参加の前後にアンケートを行い、講座受講後の参加者の野菜に関する意識の変化の有無を評価した。</p> <p>2回目の内容</p> <p>収 穫：きゅうり、なす、ピーマン、しそ、すいか</p> <p>観 察：すいかの実が前回よりも大きくなった様子</p> <p>調 理：野菜のせ冷やしうどん、?のシフォンケーキ（小松菜）</p> <p>参加者は食育ファーム内の野菜の様子を観察した。その後、調理に用いるきゅうり、なす等を収穫した。調理学実習室へ移動し、手洗い・消毒をすませて料理教室へと移行した。</p> <p>費 用：調理材料費 5,401円</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 育てて食べよう野菜食育クッキング
担当者名	今村麻里子、前田朝美、花田玲子、山田和歌子
主催（依頼） 団体等	東北女子大学
実施日時	平成24年 8月18日（土曜日） 10:00 ～ 13:00 まで
実施場所	東北女子大学 食育ファームおよび調理学実習室
対象者の内容 及び参加人数	内容：野菜を育てて料理することで、食と自分の体に関心を持つ心を育てる 人数：保護者とその子ども6組（子ども11名・保護者7名）
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>講座の実施形態は収穫と収穫野菜を用いた調理を1回の講座で行えるものとした。親子1組につき学生を1名配置し、活動をサポートした。前回のアンケートで「野菜スイーツを作りたい」との回答が得られたため、デザートとしてトマトゼリーを加えた。参加の前後にアンケートを行い、講座受講後の参加者の野菜に関する意識の変化の有無を評価した。</p> <p>3回目の内容</p> <p>収 穫：かぼちゃ、なす、きゅうり</p> <p>観 察：かぼちゃの実がなっている様子、前回との実の大きさの違い、</p> <p>調 理：のっけて野菜ピザ、トマトゼリー</p> <p>参加者は苗の植付けを体験後、食育ファーム内の野菜の様子を観察した。その後、調理に用いるきゅうりを収穫した。調理学実習室へ移動し、手洗い・消毒をすませて料理教室へと移行した。事前に収穫しておいたかぼちゃをピザの具として用いた。今回収穫したかぼちゃは次回講座で用いること旨を参加者に伝えた。</p> <p>費 用：調理材料費 6,417円</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

※一行事、一葉に記入願います。

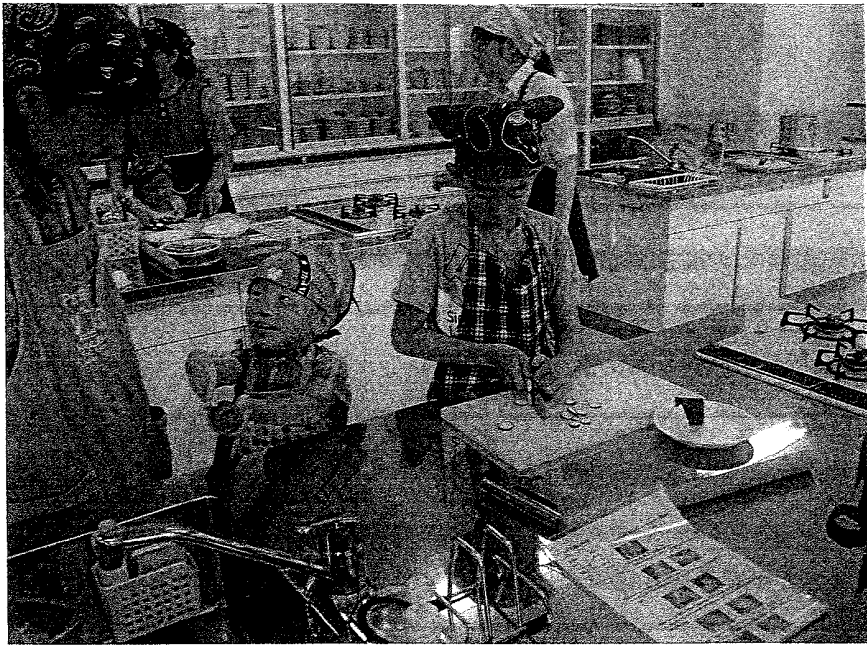
行事の名称	公開講座 育てて食べよう野菜食育クッキング
担当者名	今村麻里子、前田朝美、花田玲子、山田和歌子
主催（依頼） 団体等	東北女子大学
実施日時	平成24年 9月 8日（土曜日） 10:00 ～ 13:00 まで
実施場所	東北女子大学 食育ファームおよび調理学実習室
対象者の内容 及び参加人数	内容：野菜を育てて料理することで、食と自分の体に関心を持つ心を育てる 人数：保護者とその子ども4組（子ども7名・保護者4名）
講座・講義 内容の概略 （費用等も）	<p>講座の実施形態は収穫と収穫野菜を用いた調理を1回の講座で行えるものとした。親子1組につき学生を1名配置し、活動をサポートした。食育クッキングの献立は「子どもにも大人にも楽しんでもらえること」を意識して採用した。これまでこねる作業が中心の献立が多かったため、今回は米を用いたメニューとした。</p> <p>4回目の内容</p> <p>収 穫：さやいんげん、かぼちゃ、枝豆、</p> <p>観 察：収穫期が終わり葉が枯れている様子を観察 さやいんげんの花</p> <p>調 理：いなりずし☆枝豆にんじんを入れて☆、かぼちゃ白玉</p> <p>食育ファームの野菜の様子を観察した。その後、枝豆の収穫体験をした。枝豆は実の入りが悪かったので、収穫のみの体験となり調理には利用できなかった。調理学実習室へ移動し、手洗い・消毒をすませて料理教室へと移行した。さやいんげんは集めてその他の野菜と一緒に具たくさんみそ汁を作り試食してもらった。みそ汁にすると一度にたくさんの野菜を食べることができることを紹介した。</p> <p>費 用：調理材料費 6,893円</p>
この行事に 関する感想 （センター行 事全体に関し ても良い）	<p>自分たちで植えた野菜の成長を観察してもらうため4回シリーズで実施し、できるだけ全4回に参加できるよう募集したが、全てに参加することは難しいと参加を断念されることもあった。気軽に参加してもらえるよう次年度以降は1回毎に完結する講座形式とする必要がある。より多くの方に参加していただきたいが、講座の形式上少数での運営が望ましい。また、1回にかかる食材費の傾向もわかってきたので、次年度以降は参加費の徴収を検討する。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

公開講座【 育てて食べよう野菜食育クッキング 】担当 今村麻、前田、花田、山田





平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 おさかな食育クッキング～旬の魚いただきます♪～
担当者名	今村麻里子 前田朝美
主催（依頼） 団体等	榊弘前丸魚 東北女子大学
実施日時	平成24年5月26日（土曜日） 11:00 ～ 14:00 まで
実施場所	東北女子大学 調理学実習室
対象者の内容 及び参加人数	食育に関心のある親子・および一般
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>10班編成</p> <p>親子7組（大人7人 子供10人） 一般24人</p> <p>係学生 1.2名</p> <p>旬の食材 うに もうかさめ</p> <p>献立 ウニのパスタペペロン風</p> <p>もうかさめの甘酢あんかけソース</p> <p>小エビと春キャベツのスープ</p> <p>材料費はすべて榊弘前丸魚より出ています</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 おさかな食育クッキング～旬の魚いただきます♪～
担当者名	今村麻里子 前田朝美
主催（依頼） 団体等	（株）弘前丸魚 東北女子大学
実施日時	平成24年7月21日（土曜日） 11:00 ～ 14:00 まで
実施場所	東北女子大学 調理学実習室
対象者の内容 及び参加人数	食育に関心のある親子・および一般
講座・講義 内容の概略 (費用等も) 9班編成
 親子4組（大人5人 子供8人） 一般25人 係学生 12名 旬の食材 ほや・鯷・いか・ほたて 献立 焼きほやをトッピング 冷やしラーメンー焼き干しとホタテのスープでー あじバーグ いかとほたてのマリネ 材料費はすべて（株）弘前丸魚より出ています
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 おさかな食育クッキング～旬の魚いただきます♪～
担当者名	今村麻里子 前田朝美
主催（依頼） 団体等	(株)弘前丸魚 東北女子大学
実施日時	平成24年9月1日（土曜日） 11:00 ～ 14:00 まで
実施場所	東北女子大学 調理学実習室
対象者の内容 及び参加人数	食育に関心のある親子・および一般
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>9班編成</p> <p>親子3組(大人3人 子供6人) 一般25人</p> <p>係学生 12名</p> <p>旬の食材 エビ各種・鯖・鮭</p> <p>献立 プライパンでエビ三味パエリア</p> <p>鯖と鮭の塩麹カレーピカタ</p> <p>フルーツジュースゼリー</p> <p>材料費はすべて(株)弘前丸魚より出ています</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 おさかな食育クッキング～旬の魚いただきます♪～
担当者名	今村麻里子 前田朝美
主催（依頼） 団体等	（株）弘前丸魚 東北女子大学
実施日時	平成24年11月24日（土曜日） 11:00 ～ 14:00 まで
実施場所	東北女子大学 調理学実習室
対象者の内容 及び参加人数	食育に関心のある親子・および一般
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>1.1班編成</p> <p>親子5組（大人5人 子供8人） 一般30人 係学生 13名</p> <p>旬の食材 牡蠣・かすべ・はたはた 献立 かきのあんかけ焼きそば かすべの中華スープ はたはたのさっぱりマリネ</p> <p>材料費はすべて（株）弘前丸魚より出ています</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 おさかな食育クッキング～旬の魚いただきます♪～
担当者名	今村麻里子 前田朝美 山田和歌子
主催（依頼） 団体等	（株）弘前丸魚 東北女子大学
実施日時	平成25年1月25日（土曜日） 11:00 ～ 14:00 まで
実施場所	東北女子大学 調理学実習室
対象者の内容 及び参加人数	食育に関心のある親子・および一般
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>1.0班編成</p> <p>親子4組（大人4人 子供7人） 一般2.6人</p> <p>係学生 1.2名</p> <p>旬の食材 ほっき貝・生真たらこ・ひらめ</p> <p>献立 ほっき貝入り小田巻き蒸し</p> <p>生たらこのお吸い物</p> <p>ひらめのソテー</p> <p>材料費はすべて（株）弘前丸魚より出ています</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 おさかな食育クッキング～旬の魚いただきます♪～
担当者名	今村麻里子 山田和歌子
主催（依頼） 団体等	㈱弘前丸魚 東北女子大学
実施日時	平成25年3月2日（土曜日） 11:00 ～ 14:00 まで
実施場所	東北女子大学 調理学実習室
対象者の内容 及び参加人数	食育に関心のある親子・および一般
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	10班編成 親子6組(大人6人 子供7人) 一般27人 係学生 11名
	旬の食材 ほっけ・はまぐり・わかめ 献立 5種の手鞠ずし わかめと白菜のごましょうゆ はまぐりのおすいもの 菱餅風牛乳寒天 材料費はすべて㈱弘前丸魚より出ています
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

公開講座【 おさかな食育クッキング 】担当 今村麻、前田、山田



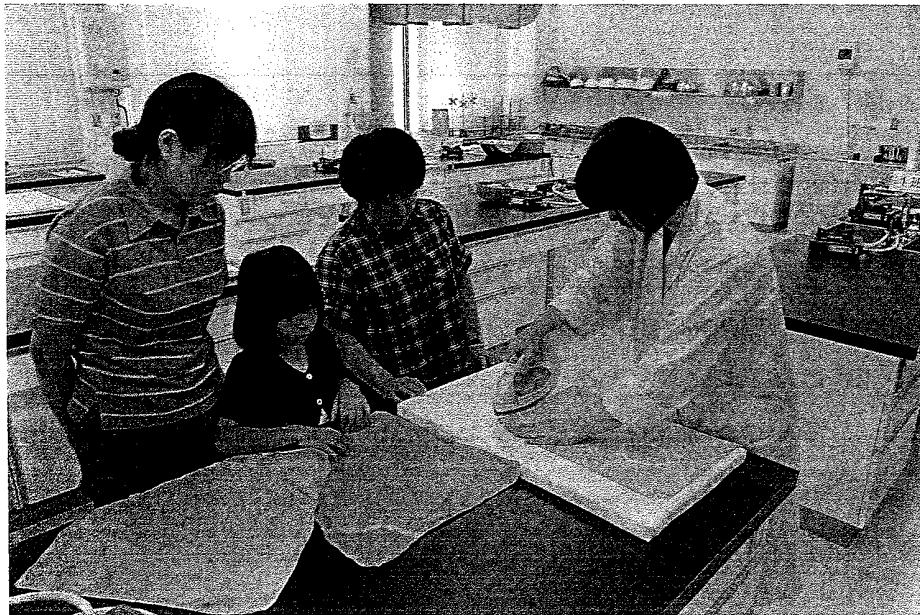
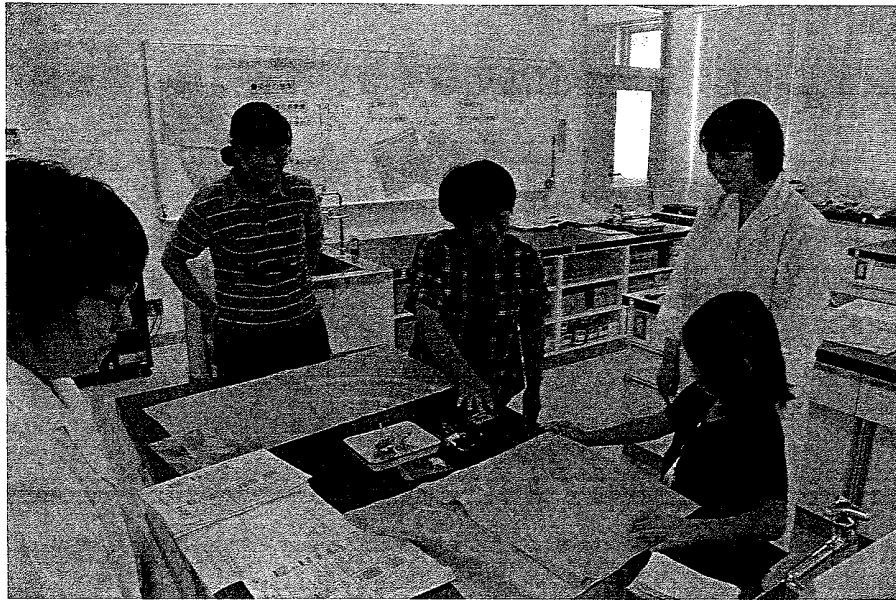


平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 身近な材料で布を染めよう ～ たまねぎで染めるハンカチ ～
担当者名	葛西 美樹・工藤 寧子
主催（依頼） 団体等	東北女子大学
実施日時	平成24年 7月 21日（土曜日） 9:30 ～ 12:00 まで
実施場所	東北女子大学 218 実習室
対象者の内容 及び参加人数	小学生 1名 一般 2名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>小学生でも簡単で安全に染色できる内容とした。また、家庭でも実習できるよう、玉ねぎの皮やミョウバン、輪ゴムやスズランテープ、割りばしなど、身近な材料・道具を使用した。</p> <p>手順などを説明した後、実際の作業に入った。なお、作業中も説明を補足しながら進めた。工程は以下の通りである。</p> <p>絞り（40分）→ 染色・媒染（1時間）→ 乾燥・仕上げ（10分）</p> <p>参加費：200円</p> <p>経費：4,649円（ハンカチ・菜ばし・ゴム手袋など）</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	<p>当初、対象者から一般の方を外し、小学生などの児童・生徒を対象と考えていたが、実際には、それでは受講者が集まりにくいことがわかった。今後は対象を広げること、小学生も参加しやすい時期とすることが課題である。</p> <p>受講者は、被服系の講座に複数回参加してくれ、来年も参加したいと意欲的だった。全般に、公開講座に参加する方は、リピーターとなったり、様々な内容を受講したりと、参加率が高いように感じる。</p> <p>今年の講座の受講者に対し、来年度チラシなどを送付しご案内することで、公開講座全体がより活発になると考える。</p> <p>センターの先生方には、ご協力いただき感謝申し上げます。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。



平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

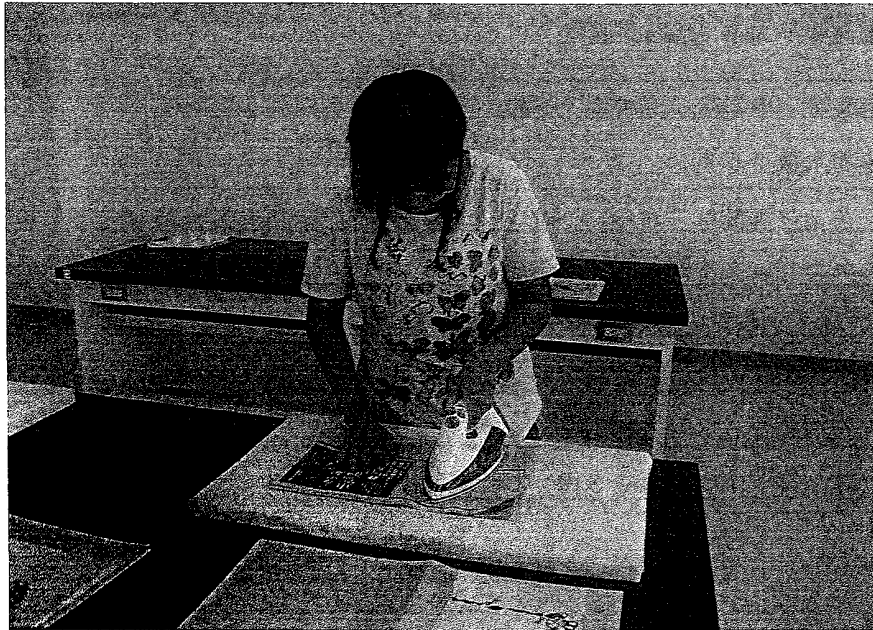
行事の名称	公開講座 染色講座 ～ いも版染めのミニテーブルセンターを作ろう ～
担当者名	葛西 美樹・工藤 寧子
主催（依頼） 団体等	東北女子大学
実施日時	平成24年 9月 1日（土曜日） 10:00 ～ 12:00 まで
実施場所	東北女子大学 226 実習室
対象者の内容 及び参加人数	一般 2名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>家庭で身近にある、じゃがいもとレンコンを使ってスタンプを作り、ミニテーブルセンターに染色をほどこした。染料は、ステンシル用として手芸店などで市販されているアクリル顔料を使用した。</p> <p>工程は以下の通りである。</p> <p>版をつくる → 布にスタンプする → アイロン乾燥・仕上げ</p> <p>参加費：200円</p> <p>経費：3,849円（布・アクリル顔料・じゃがいも、レンコンなど）</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	<p>前回の染色講座に参加した方が、親戚の方と一緒に受講してくれた。</p> <p>小学生も受講しやすい内容であったが、開催時期が良くなかったため、参加者はいなかった。多くの方に参加してもらえよう適切な時期に開催することが課題である。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

公開講座【 染色講座 ～いも版染めのミニテーブルセンターをつくろう～ 】

担当 葛西、工藤寧

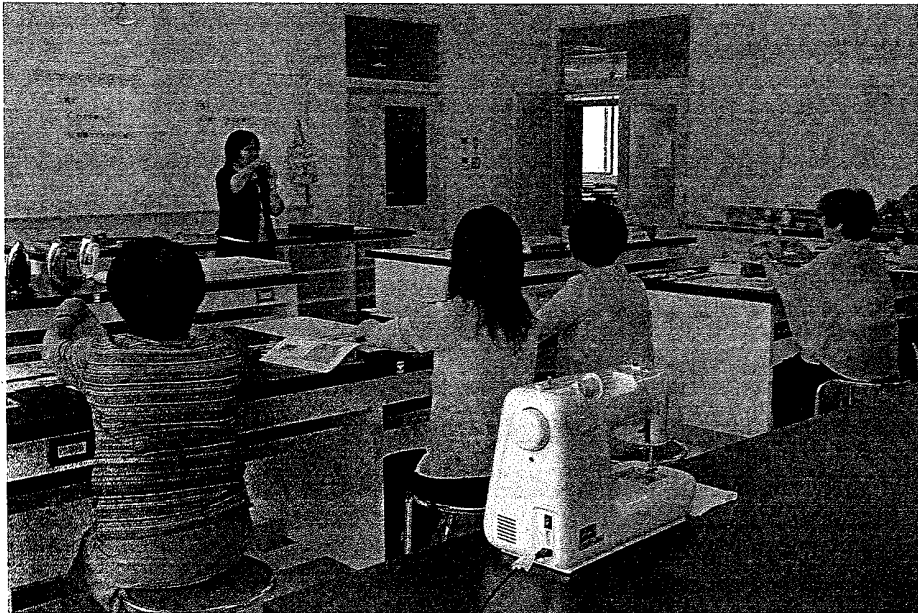
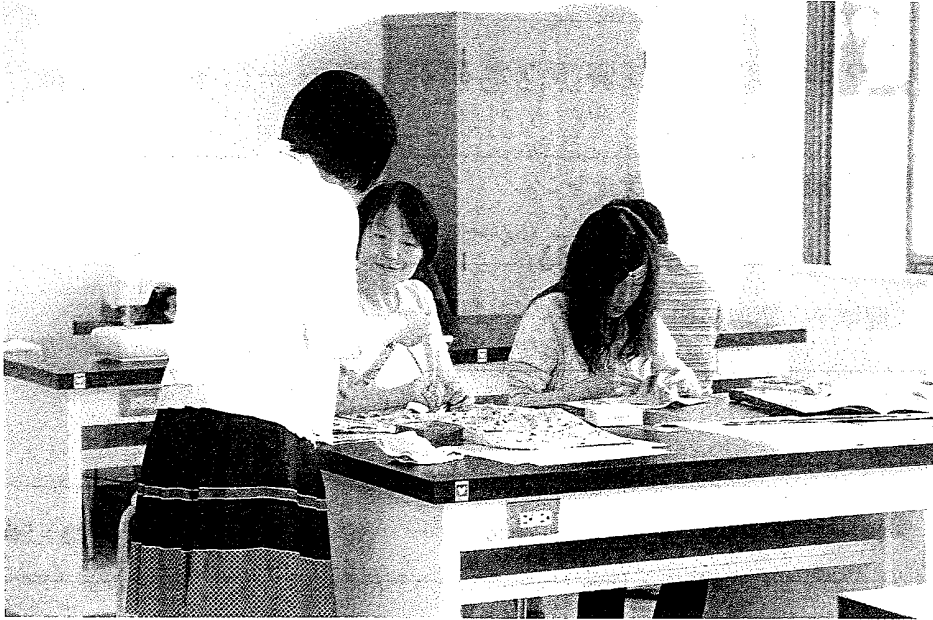


平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

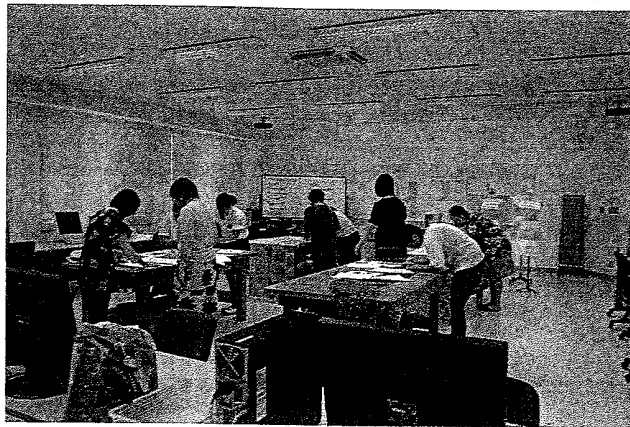
行事の名称	公開講座 ミシンにチャレンジ ～オリジナルエコバックをつくろう～
担当者名	工藤寧子、葛西美樹
主催（依頼） 団体等	東北女子大学
実施日時	平成 24年 7月 14日（土曜日） 9:30 ～ 12:00 まで
実施場所	東北女子大学 [226 講義室]
対象者の内容 及び参加人数	対象者：中学生、高校生、一般 参加人数：5名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>ミシンに触れてもらい、物づくりの楽しさを体験してもらうことを目的に、2WAYバックのエコバックを制作してもらいました。</p> <p>まず、ある中から好みの材料を選び、材料・制作工程・ミシンの使い方を説明したのち制作。各制作工程ごとに説明をしながら行ないました。</p> <p>参加費：300円 経費：11,003円</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	<p>参加者の裁縫技術が当日にならないと分らなかった為とても心配でしたが、アンケート結果より、参加者は楽しく、ちょうどよい作業時間であったと全員が回答して頂けました。また、制作したエコバックを早速使って帰っており、アンケートでも制作したエコバックを使用したいと全員に答えて頂けました。好評価で良かったです。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。



公開講座【 CADにチャレンジ ～簡単なスカートをつくろう～ 】担当 工藤、葛西



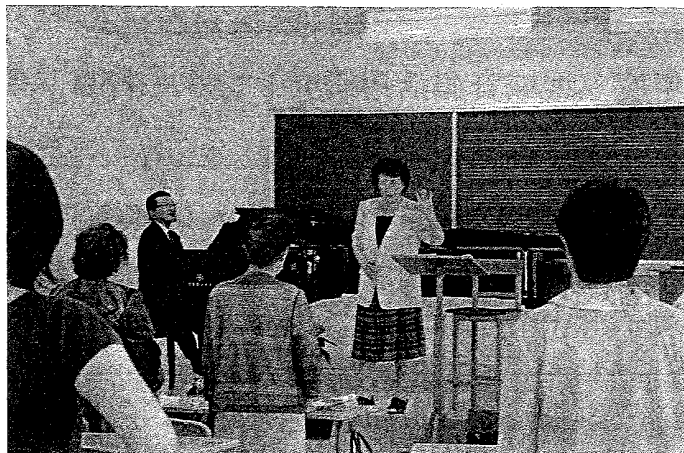
平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 歌い継ぎましょう 童謡・唱歌を ～その8～
担当者名	山崎 祥子 ・ 一戸 智之
主催（依頼） 団体等	東北女子大学
実施日時	平成 24年 7月 21日（土曜日） 10:30 ～ 12:00 まで
実施場所	東北女子大学 音楽室（504室）
対象者の内容 及び参加人数	小学生以上一般 29名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>○講座内容 春：〈どこかで春が〉〈春〉〈蝶々〉〈おぼろ月夜〉 夏：〈夏は来ぬ〉〈浜千鳥〉〈靴がなる〉〈夏の思い出〉 秋：〈紅葉〉〈夕焼け小焼け〉〈故郷の空〉〈ふるさと〉 冬：〈冬景色〉〈ちんちん千鳥〉〈雪山賛歌〉〈冬の夜〉</p> <p>○活動 『曲集』全16曲を一曲ずつ作者（詞・曲）について曲の特長、エピソード等 について解説を加えて参加者全員とピアノ伴奏に合わせて歌唱する。 なお、曲にまつわる風景、美しい情景を映像で楽しむ</p> <p>○資料曲集配布（無料）</p> <p>●案内用切手代 80円×60件＝4,800円</p> <p>●係り学生（会場設営、椅子運び、机整理、DVD操作、資料作り、案状、封筒書、 当日会場接待、清掃、等）6名</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	<p>60歳以上の参加者が多かったが、健康に関わるトピックスとあって興味を持ってもらえたと思う。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

公開講座【 歌い継ぎましょう 童謡・唱歌を その8 】担当 山崎、一戸



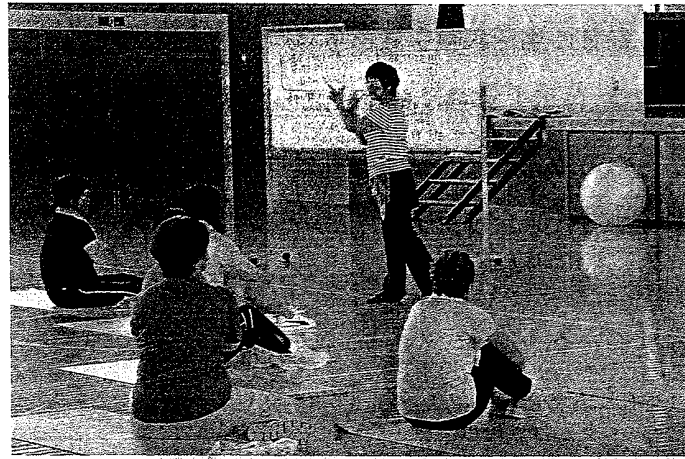
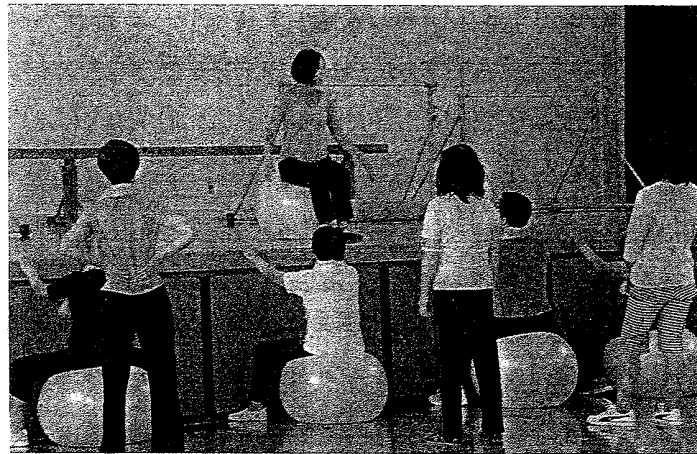
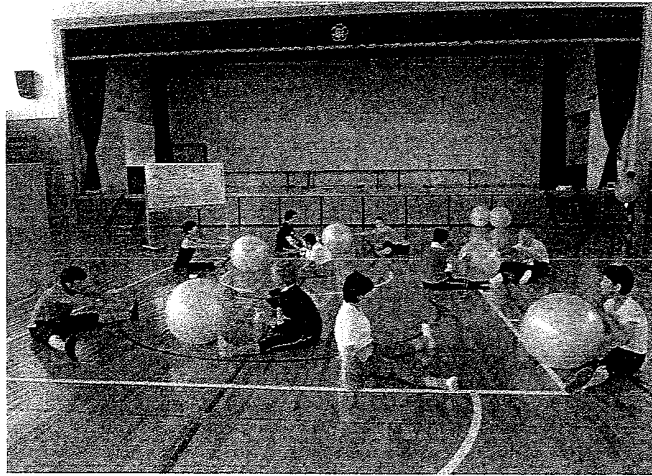
平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 気分爽快！リズムでワクワク ～心も体もリフレッシュ～
担当者名	河内 見地子 / 中山 寛子
主催（依頼） 団体等	東北女子大学 地域資源活用研究センター
実施日時	平成 24 年 9 月 15 日（土曜日）10 : 20 ～ 11 : 50 まで
実施場所	東北女子大学 アリーナ
対象者の内容 及び参加人数	8名（概ね50歳以上）
講座・講義 内容の概略 （費用等も）	<p>『筋肉が落ちると老けて見える…筋肉も鍛えよう、普段の動作が若々しく見える』をテーマに心も体も弾みリフレッシュできるようなリズム運動に加え、高額ではなく、個人で準備しても手軽に購入できる用具、「バランスボール」を使用した動きに解説を加え、狭い場所でも簡単にできる運動を紹介した。</p> <p>○参加者の年齢層が50代～70代と幅があった為、動きの構成、雰囲気づくりに使用した曲のパターン BGM の選択には、それぞれの年代でもワクワク感がもてるよう時間をかけ、工夫や配慮に心がけた。</p> <p>○講座参加者が、お互い初めての出会いであっても、笑顔で運動を楽しみ、気持ちを合わせたり、心の交流が持てるようにコミュニティーの工夫に力を注いだ。</p> <p>費用：バランスボール(10個)34,700円、ヨガマット(14個)35,000円 / 計69,700円</p>
この行事に 関する感想 （センター行 事全体に関し ても良い）	<p>公開講座終了後、直ぐにホームページへの掲載をして欲しい。次回、参加者の募集、人員確保につなげていきたいと考えている為。ぜひ、お願いしたい。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

公開講座【 気分爽快！リズムでワクワク ～心も体もリフレッシュ～① 】担当 河内、中山

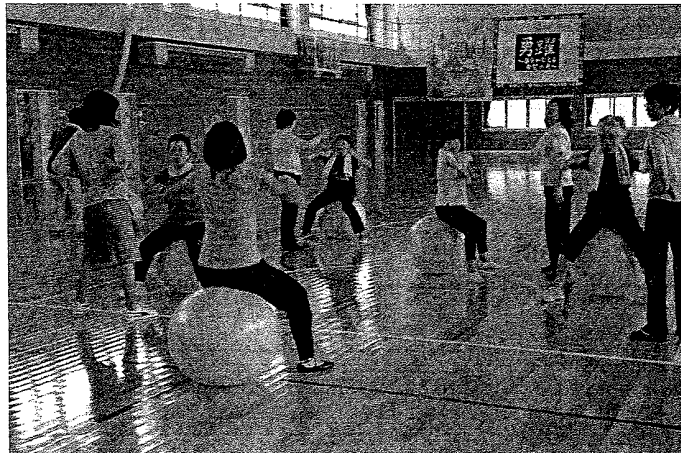
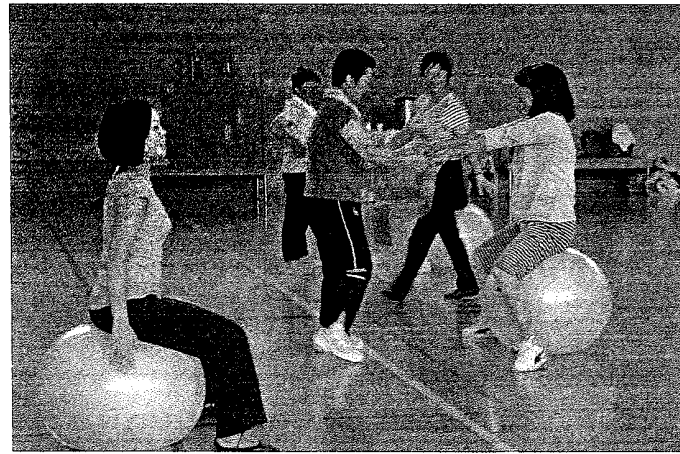
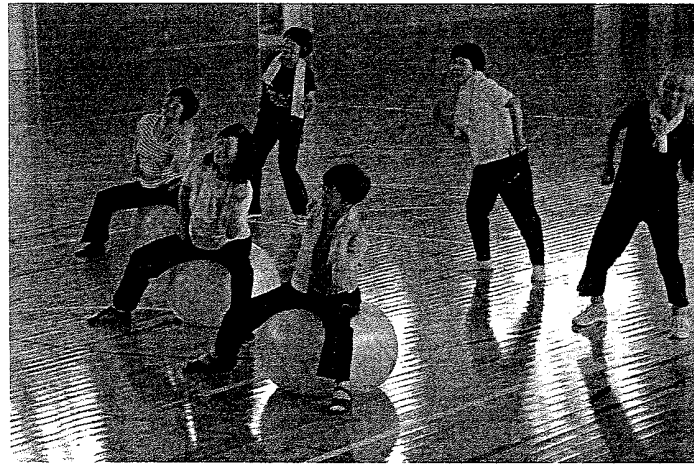


平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 気分爽快！リズムでワクワク ～心も体もリフレッシュ～
担当者名	河内 見地子 / 中山 寛子
主催（依頼） 団体等	東北女子大学 地域資源活用研究センター
実施日時	平成 24 年 9 月 29 日（土曜日）10 : 20 ～ 11 : 50 まで
実施場所	東北女子大学 アリーナ
対象者の内容 及び参加人数	14名（概ね50歳以上）
講座・講義 内容の概略 （費用等も）	<p>講座1回目の内容にプラスし、2回目は参加者自らが動きを深め、高めたりできるよう、生涯スポーツを念頭に継続的プログラムを試みた。</p> <p>○ 新しいプログラムの導入としては、「タオル体操（ストレッチング）」とゆっくり、無理なく毎日の生活に生かせる体操「きくち体操」の紹介も同時に行った。</p> <p>○ 講座の時期（9月）が暑い時期であった為、水分補給を考慮し、2種類の冷たいスポーツ飲料水を準備した。又、運動後の爽快感と心地良さを味わってもらえるよう、アリーナに設置されているシャワー室の使用を積極的に勧めた。</p> <p>○ 近隣の公民館などを利用し、今回の内容等を出前講座として展開できないか相談をもちかけられている。</p> <p>費用：フェイスタオル 女子大名前入(100個)30,000円、飲料代1,533円 / 合計 31,533円</p>
この行事に 関する感想 （センター行 事全体に関し ても良い）	<p>公開講座終了後 直ぐにホームページへの掲載をして欲しい。次回、参加者の募集、人員確保につなげていきたいと考えている為。ぜひ、お願いしたい。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

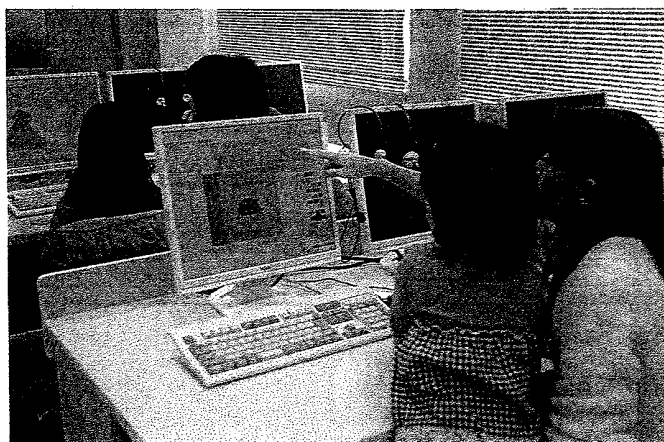
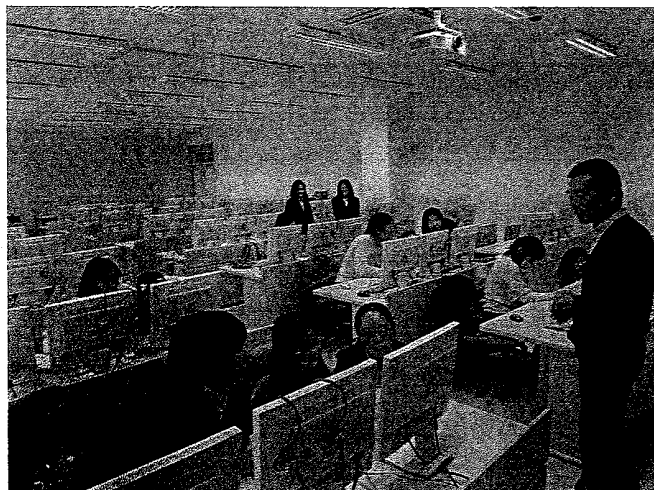


平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座 親子でパソコン体験講座 ～パソコンで絵本をつくろう～
担当者名	崎野 三太郎
主催(依頼) 団体等	東北女子大学
実施日時	平成 25年 1月 26日(土曜日) 10:00 ~ 12:00 まで
実施場所	東北女子大学 コンピュータ室(1)
対象者の内容及び参加人数	4歳以上の未就学児とその保護者 5組み (子ども5人 保護者5人)
講座・講義内容の概略(費用等も)	<p>5分 1. あいさつ、自己紹介、学生紹介(4L 5名)</p> <p>35分 2. 「ポケモン」ソフトで、ゲームによるマウス操作の練習</p> <p>1.0分 3. 休憩</p> <p>70分 4. 「ピッケのつくるえほん」で絵本をつくる</p> <p>ソフトの紹介と操作方法(インターネット)</p> <p>絵本製作(親子で一つの絵本をつくる)</p> <p>テーマ「お母さん、お父さんにプレゼントする絵本をつくろう」</p> <p>印刷</p> <p>ハサミで切り、ホッチキスでとめ、ノリではって絵本を完成させる</p>
この行事に関する感想(センター行事全体に関してでも良い)	<p>予想通りの受講者(親子)の行動であった。</p> <p>学生の補助の仕方も適切で、とても楽しく講座を行うことができた。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。



平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	公開講座・出前講義 学都ひろさき 平成24年度6大学合同シンポジウム
担当者名	今村麻里子（講演者）一戸均・杉本久美子（コンソーシアム委員）
主催（依頼） 団体等	学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム企画運営委員会
実施日時	平成24年12月1日（土曜日） 13：30～16：30 まで
実施場所	弘前大学医学部コミュニケーションセンター2階大会議室（弘前市在府町5）
対象者の内容 及び参加人数	対象者：聴講希望の一般市民、大学関係者、学生。 参加（来場）人数：50名
講座・講義 内容の概略 （費用等も）	<p>「『学園都市ひろさき』の可能性と大学の役割」をテーマとし、弘前市内にある6大学が合同で開催したシンポジウム。基調講演は大阪経済法科大学の深瀬澄氏による「プロジェクト型インターンシップによる地域活性化とリーダー人材育成～あべの・天王寺まちづくり構想プロジェクト取組事例の紹介」。パネルディスカッションでは「地域活性化と大学の役割」について6大学からの代表者各1名、計6名によってそれぞれの大学における地域貢献に関して紹介・討論がなされた。</p> <p>東北女子大学からは家政学科講師今村麻里子氏が講演者として出席し、東北女子大学が行っている地域貢献および地域資源活用に関する活動について紹介した。また一戸均事務長および杉本久美子専任講師がコンソーシアム委員としてシンポジウム開催の準備にあたった。開催準備費用は開催者であるコンソーシアム側が負担し、講演者今村先生に対し後日実費とし駐車場代金（500円）が支払われた。</p>
この行事に 関する感想 （センター行 事全体に関し ても良い）	<p>弘前市内にある6大学それぞれが独自に行っている地域貢献活動について、一同に会し知ることができた意義深いシンポジウムであった。今回東北女子大学の地域資源活用に関する紹介・報告のまとめを今村麻里子先生に依頼し制作して頂くかたちとなった。今後展開される地域資源活用に関する活動について、誰あるいはどの部署が中心となって記録し、学部で紹介できるよう編集するのか体制を整備することが今後の課題である。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

出前講義

- 黒石からの伊勢参り
- 弘前藩江戸藩邸の人々
- コミュニケーション力を高めるために
- 南黒地区学校給食協議会 学習会
- 「学校栄養職員研修講座」及び「栄養教諭研修講座」
- 音楽研修講座
- 幼・児童教育実技講座
- 「平成の寺子屋」
- 食に関する講話
- 津軽における寺社参り
- 津軽地方の特産品を活用した商品開発
- 遺伝子組み換え食品の安全性について
- 食育クッキング
- 食や健康に関する講話
- お口の健康講座
- 食や健康に関する講話

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講義 黒石からの伊勢参り
担当者名	篠村 正雄
主催（依頼） 団体等	こみせ観光ボランティアガイドの会（黒石市）
実施日時	平成24年 4月 19日（日曜日） 18:00 ～ 19:30 まで
実施場所	津軽こみせ駅、音蔵こみせん
対象者の内容 及び参加人数	30名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>伊勢信仰の歴史についてふれる。</p> <p>津軽における伊勢信仰と伊勢参りについてふれる。</p> <p>黒石からの伊勢参りの事例を紹介する。その中で飛内村高木久蔵の伊勢参りの特徴と白犬について史料をあげながら説明する。</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	<p>本学の紀要 第50号の拙稿「高木久蔵の道中手帳嘉永三年について」を基にして説明したところ、地元の材料なので関心が高かった。</p> <p>4月22日付『津軽新報』に報道記事として載っている。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講義 土曜セミナー 弘前藩江戸藩邸の人々
担当者名	篠村 正雄
主催（依頼） 団体等	青森県立郷土館
実施日時	平成24年 6月 16日（土曜日） 13:30 ~ 15:00 まで
実施場所	青森県立郷土館
対象者の内容 及び参加人数	35名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>弘前藩江戸藩邸の人々を取り上げた。この時、藩主家の人々は除いた。</p> <p>江戸藩邸で病を得た人の病下り・末期願・病死の取り扱いについてふれた。</p> <p>事故死の事例を挙げ、その取り扱いについてふれた。</p> <p>江戸柳島長寿寺・本所石原町碩運寺の過去帳を考察し明らかになった点を説明した。</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	<p>「弘前藩江戸藩邸における死者とその扱い（上）（下）」（『弘前大学国史研究』第131・132号）の拙稿を基に理解させた。</p> <p>その中で安政江戸地震のところでは関心が高くなった。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

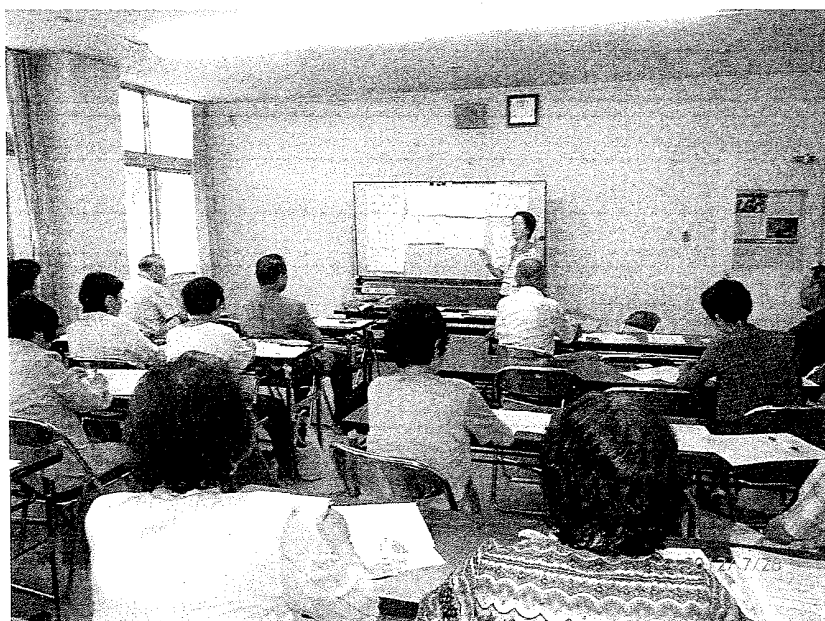
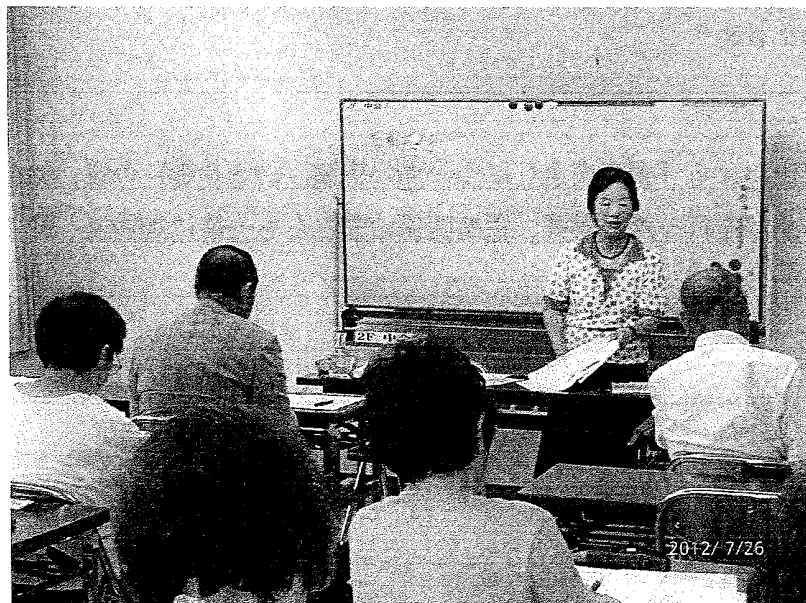
平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講義 まちづくり地域社会講座 コミュニケーション力を高めるために ～アサーショントレーニング、リフレーミングを体験しよう～
担当者名	高橋 芙美子
主催（依頼） 団体等	青森市中央市民センター 生涯学習チーム
実施日時	平成 24年 7月 26日（木曜日） 10:00 ～ 12:00 まで
実施場所	青森市勤労青少年ホーム
対象者の内容 及び参加人数	青森市寿大学1年生 27名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>..... 寿大学院の学生27名にコミュニケーションワークの中の、「アサーション・トレーニング」について、講義と体験的ワークを実施した。</p> <p>..... 「自分も相手も尊重する自己主張訓練をすることによって、よい人間関係を作ることが出来る」ということをテーマにしたプログラムで、具体的な場面でのロールプレイや話し方を考えてみるという課題を行った。</p> <p>..... 始めは、なかなか活動にのってこなかったが、具体的な事例をもとに、書いてもらったり、話してもらっているうちに、何人かで話し合う様子もみられ、興味をもって参加する人が増えた。感想を見ても、人間関係で悩んでいたのも、今回の講義で学んだことを活用できるなど、好意的、意欲的な受け止めがなされていた。</p> <p>..... ※交通費は「青森駅から会場までの往復チケット」受け取り</p>
この行事に 関する感想 (センター行事 全体に関し ても良い)	<p>..... 女子大学の教員が様々な活動をすることで、地域との交流や貢献が出来るので、よいことだと思う。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

出前講義【 まちづくり地域社会講座 ミニケーション力を高めるために
～アサーショントレーニング、リフレミングを体験しよう～ 】担当 高橋芙



平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講義 南黒地区学校給食協議会 学習会
担当者名	西山 邦隆
主催（依頼） 団体等	南黒地区学校給食協議会
実施日時	平成 24年 7月 27日（金曜日） 10:00 ~ 13:00 まで
実施場所	東北女子大学（多目的ホール・給食室）
対象者の内容 及び参加人数	約70名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>西山による「食の安全」についての講演（約60名）の後、給食室にて、昼食をしながら懇談を行った。学長、栄養関係の先生らも一緒に加わり、約1時間の時間を過ごした。</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

出前講義【 南黒地区学校給食協議会 学習会 】 担当 西山



平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講座 平成24年度青森市教育研修センター主催研修講座 「学校栄養職員研修講座」及び「栄養教諭研修講座」
担当者名	今村 麻里子
主催（依頼） 団体等	青森市教育委員会
実施日時	平成24年7月30日（月曜日） 13:30 ～ 15:30 まで
実施場所	青森市教育研修センター
対象者の内容 及び参加人数	青森市学校栄養職員及び栄養教諭 10名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	趣旨 食に関する健康教育の重要性と授業づくりに関する基礎的・基本的内容及び効果的な学習指導方法について研修し、学校栄養職員・栄養教諭としての実践的指導力の育成を図る 【講義・演習】 栄養教諭・学校栄養職員の職務及び食に関する指導
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講義 平成24年度 音楽研修講座
担当者名	山崎 祥子 (同行) 一戸 智之
主催 (依頼) 団体等	弘前市教育委員会
実施日時	平成 24年 8月 2日 (木曜日) 13:35 ~ 15:05 まで
実施場所	弘前市総合学習センター
対象者の内容及び参加人数	小・中学校音楽担当関係教員・教育委員会主事 17名
講座・講義内容の概略 (費用等も)	<p>音楽科授業作り ～きれいな斉唱と心もこもった合唱の指導～</p> <p>プロローグ きれいな斉唱と心のこもった合唱とは</p> <p>I 音楽科教育における「指導」</p> <p>1) 授業行為について</p> <p>2) 小学校指導要領 表現歌唱活動 指導のポイント</p> <p>II 発声法の基礎と指導の実際</p> <p>III きれいな斉唱 (6曲)</p> <p>IV たのしい唱唱 (3曲)</p> <p>V 心のこもった合唱 (6曲)</p> <p>エピローグ 日本の歌 鑑賞 (1曲) 歌：山崎祥子 ピアノ：一戸智之</p>
この行事に関する感想 (センター行事全体に関してでも良い)	<p>当日風景写真なし</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講義 平成24年度 幼・児童教育実技講座
担当者名	山崎 祥子 (同行) 一戸 智之
主催(依頼) 団体等	黒石市教育委員会
実施日時	平成 24年 8月 8日 (水曜日) 14:10 ~ 15:50 まで
実施場所	黒石市立黒石東小学校 多目的ホール
対象者の内容及び参加人数	幼稚園教諭 8名、保育士 8名、小学校教諭 2名、教育委員会 2名
講座・講義内容の概略(費用等も)	<p>「幼・低学年児童の音楽 ー表現ー」</p> <p>～歌唱 「表現」 指導のポイント ～</p> <p>プロローグ 胎児はすでに音楽の世界を体験している</p> <p>I 歌唱表現指導の原動力</p> <p>II 歌唱(音楽)の力</p> <p>III 乳児・幼児のうた遊びで心がけたいポイント</p> <p>IV 歌唱の心得</p> <p>V 歌唱指導の実際 わらべうた編 (4曲)</p> <p>発声の基礎</p> <p>童謡、唱歌編 (6曲)</p> <p>エピローグ こどものうた鑑賞 (2曲) 歌 :メゾソプラノ 山崎祥子 ピアノ :一戸智之</p>
この行事に関する感想(センター行事全体に関してでも良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

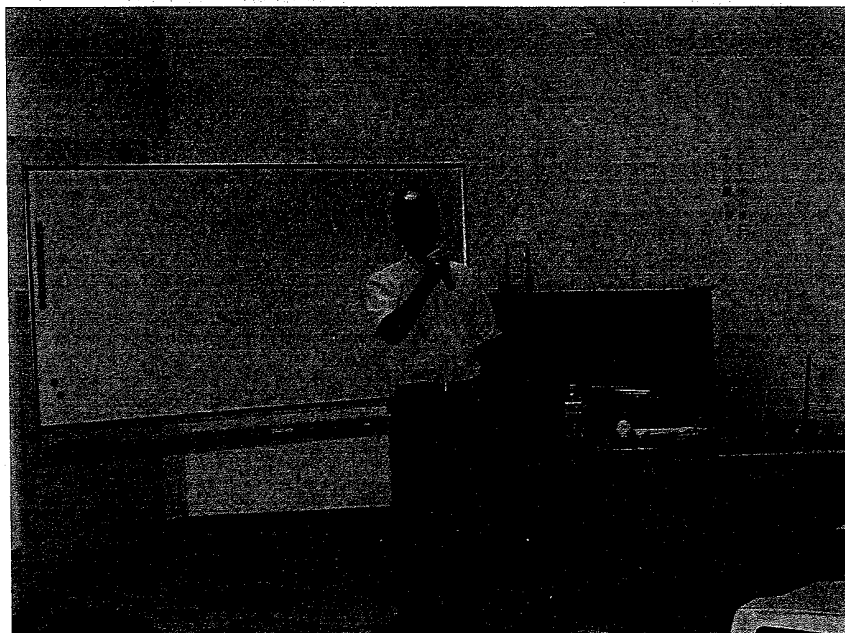
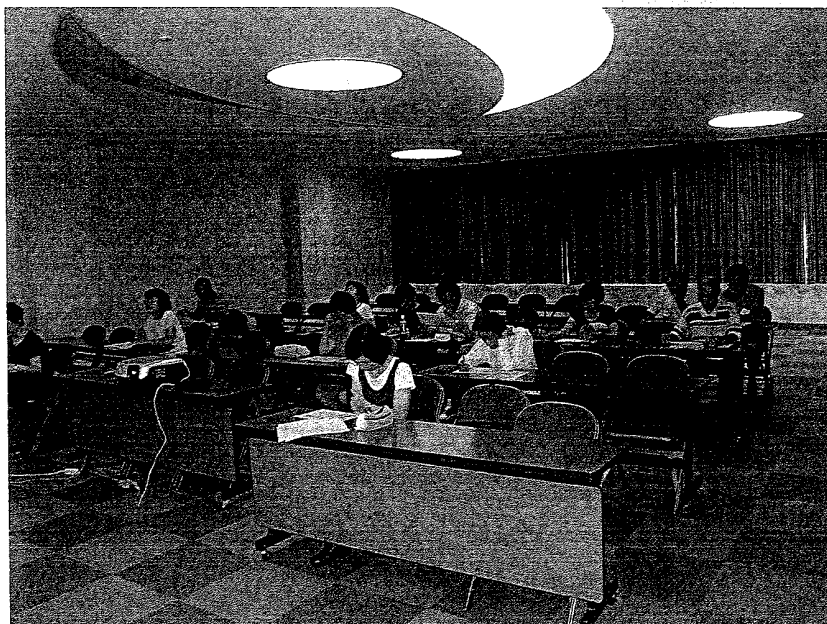


平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講義 「平成の寺子屋」～青森県産食品が健康に及ぼす好影響
担当者名	土 谷 庸
主催（依頼） 団体等	平賀公民館（平川市）
実施日時	平成 24年 8月 23日（木曜日） 13:30 ～ 15:10 まで
実施場所	平賀公民館
対象者の内容 及び参加人数	一般の平川市民 15名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>1. 青森県産海産物であるイカ・ホタテ成分であるタウリンに注目し、小腸グルコース吸収に及ぼす影響を説明</p> <p>2. サケ鼻軟骨由来プロテオグリカンの消化管での吸収機序について説明</p> <p>交通費支給（センターから）</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	<p>60歳以上の参加者が多かったが、健康に関わるトピックスとあって興味を持ってもらえたと思う。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。



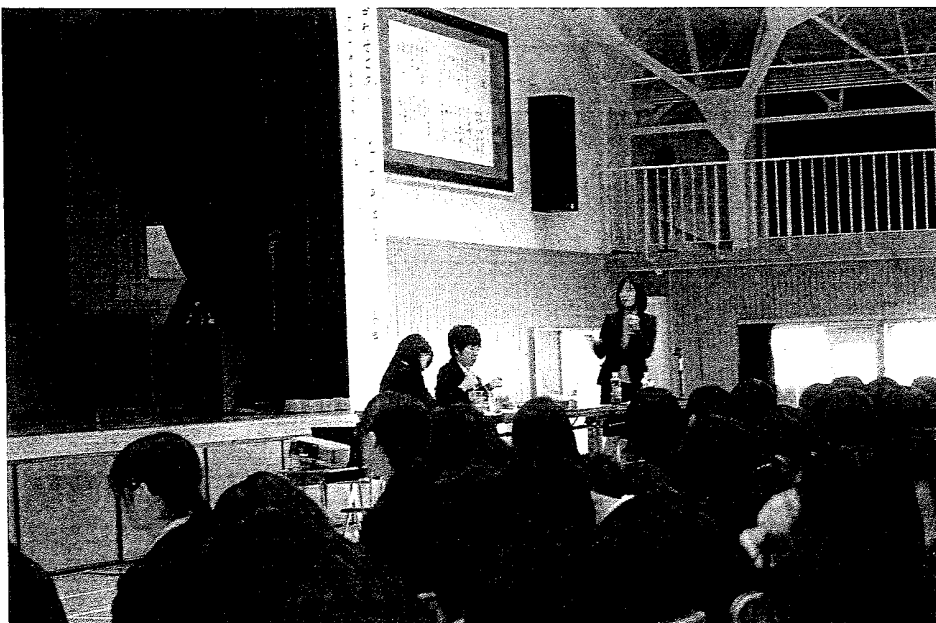
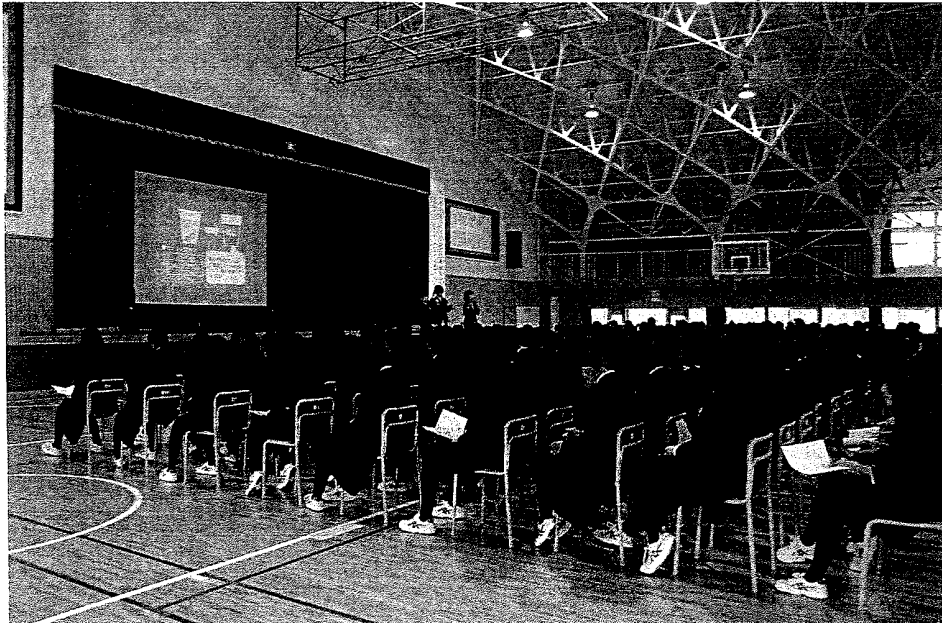
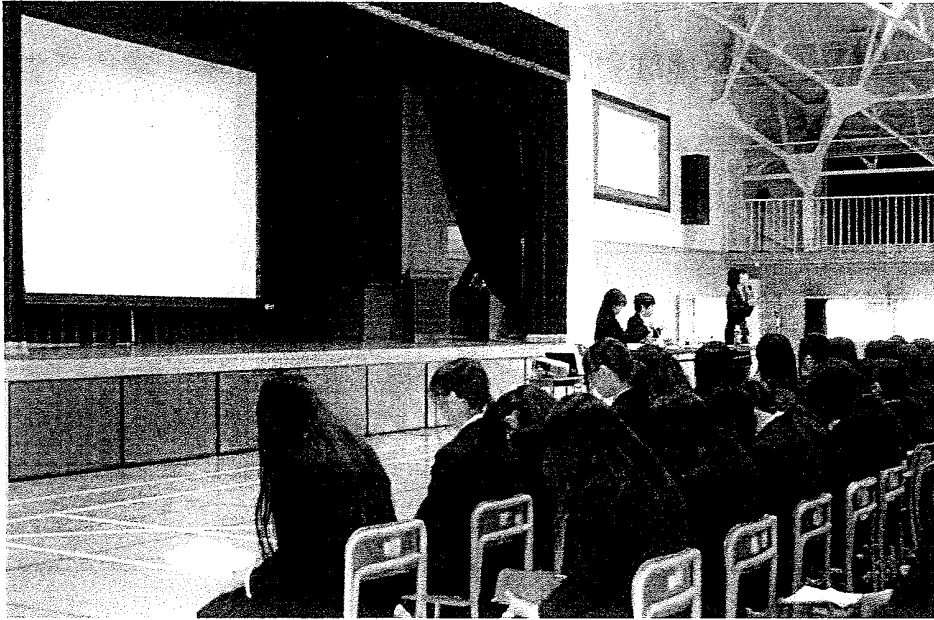
平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講座 食に関する講話
担当者名	前田 朝美
主催（依頼） 団体等	青森県立木造高等学校
実施日時	平成 24年 10月 9日（火曜日） 13:30 ~ 14:20 まで
実施場所	青森県立木造高等学校 第1体育館
対象者の内容 及び参加人数	全校生徒640名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>総合学習の一環で、全校生徒に対し食育関連の講話を行いたいという要望があり、「食に関する講話」を実施した。運動部等の活動が活発ということもあり、テーマは「食べ合わせとタイミングで身体をかえる栄養学」とし、スポーツ栄養の切り口から食の大切さについてお話しした。パワーポイントと食材を使用した実験を取り入れ、生徒の興味関心が深まるよう工夫した。後日、お礼状と生徒の感想文を送付していただいた。感想文の内容から、食に関心を持ち、生活に生かしたいという意欲が感じられた。</p> <p>実験を段取り良く行うため、また写真撮影のために、食育サポート部の学生2名と田中夏海先生に補助を依頼した。経費としては、実験用の食材費として、2,666円を使用した。交通費が支給された。</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

出前講義【 食に関する講話 】担当 前田



平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講義 津軽における寺社参り
担当者名	篠村 正雄
主催（依頼） 団体等	北奥文化研究会
実施日時	平成24年 10月 14日（日曜日） 13:30 ~ 15:00 まで
実施場所	五所川原市公民館
対象者の内容 及び参加人数	30名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>弘前藩の寺社政策についてふれる</p> <p>弘前藩領からの伊勢参り・抜参り・御国三十三観音巡りの特徴を説明した。</p> <p>伊勢参りについては、五所川原平山熊之助の伊勢参りの旅行日程についてふれた。</p> <p>羽野木沢村阿部治助の伊勢参りについては、餞別・土産の送り先の人名を考察した。</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	<p>本学の紀要 第49号の拙稿「津軽からの伊勢参宮」を基に、平山熊之助・阿部治助の新しい史料を追加したところ、関係者の子孫も聴講していて、講義の内容が深まった。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講義 津軽地方の特産品を活用した商品開発
担当者名	蓮井 祐二
主催（依頼） 団体等	青森県五所川原市雇用創出協議会
実施日時	平成 24年 10月 23日（ 火曜日 ） 11:00 ～ 14:00 まで
実施場所	五所川原市学習センター
対象者の内容 及び参加人数	五所川原市民 20名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>【しじみ】及び【トマト】を利用したパスターソースの開発について講義した。従来の食材からのうまみの抽出には限界があり、トマトの色素もあまり鮮やかとは言えない。そこで、食材を-20度に凍らせて、食材の細胞を水分により破壊し、加熱によりうまみ、色素を抽出する新しいやり方について説明し、実際にソースを作り、パスタをゆでて試食してもらった。</p> <p>五所川原市の【赤いリンゴ】を利用したこれまでより鮮やかな新しい赤いジャムの製造について説明した。これをホワイトチョコレートでコーティングした洋菓子を作り五所川原の特産にすることを提案した。</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講義 遺伝子の組み換え食品の安全性について
担当者名	蓮 井 祐 二
主催（依頼） 団体等	弘前市立城西小学校
実施日時	平成 24年 10月 24日（水曜日） 10:00 ～ 11:30 まで
実施場所	城西小学校 小ホール
対象者の内容 及び参加人数	小学6年生 70名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>..... 遺伝子の組み換え食品の安全性と地産地消の意義についての講演会を行った。厚労省の小学生、父兄向けのDVDを借り、このDVDをもとに遺伝子の組み換えの安全性、危険性について説明した。校長先生、担任の先生方もよく理解できたと喜ばれていた。それとは別に、児童学科学生の教育実習態度について大いに評価していた。</p> <p>..... 五所川原市の【赤いリンゴ】を利用したこれまでより鮮やかな新しい赤いジャムの製造について説明した。これをホワイトチョコレートでコーティングした洋菓子を作り五所川原の特産にすることを提案した。</p> <p>.....</p>
この行事に 関する感想 (センター行事 全体に関し てでも良い)	<p>..... この遺伝子の組み換え食品の安全性についての学習は総合学習の一環で行われており、親子で買い物をし、それぞれの遺伝子組み換え食品の表示についての話し合いが活発になされている様子であった。また子どもたちは食品の様々な表示を模造紙にまとめ、学習発表会において日本と外国の遺伝子組み換え食品に関する考え方の違いについてもいきいきと発表していた。</p> <p>.....</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講座 青森県立八戸中央高校 食育クッキング
担当者名	今村 麻里子 花田 玲子
主催（依頼） 団体等	青森県立八戸中央高校 渉外部
実施日時	平成24年10月27日（土曜日） 9：30 ～ 12：30 まで
実施場所	青森県立八戸中央高校 調理室
対象者の内容 及び参加人数	八戸中央高校保護者・子ども・教職員・事務部 30名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	趣旨 食育の講話及び実習にて、普段の食生活を見直しながら、楽しく料理する 秋の食育クッキング ～簡単楽しい おもてなし料理～ ○和風フライパンパエリア ○青森県産秋野菜のあったかスープ ○スイートパンプキン
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。



平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講座 食や健康に関する講話
担当者名	前田 朝美
主催（依頼） 団体等	ひがし保育園
実施日時	平成 24年 11月 10日（土曜日） 9:00 ~ 9:50 まで
実施場所	ひがし保育園 遊戯室
対象者の内容 及び参加人数	園児の保護者 60名程度
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>.....</p> <p>保育参観日の保護者対象の講話として、食や健康に関する講話を実施した。テーマは「子どもの成長を助ける食～時間栄養学と食べ合わせの大切さ～」と題し、幼児期の食育の大切さについて、食材を使った実験を行いながらプリントを用いて行った。育児をしながら食事作りをするということで、なかなか時間をかけることができない実態を踏まえながら、ちょっとした工夫でできる栄養の摂り方など具体例を示したことで、興味を持って参加していただけた。講話終了後もいくつか質問を受けた。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

※一行事、一葉に記入願います。

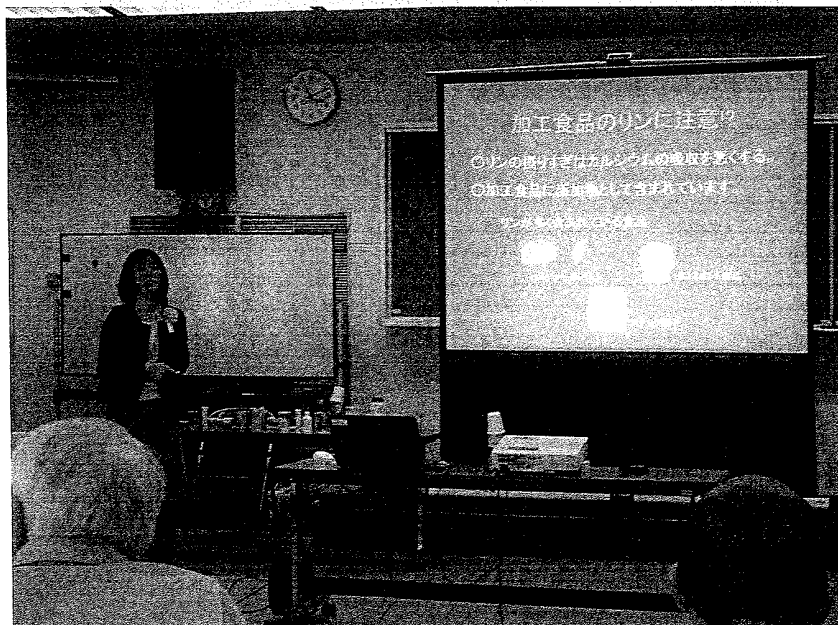
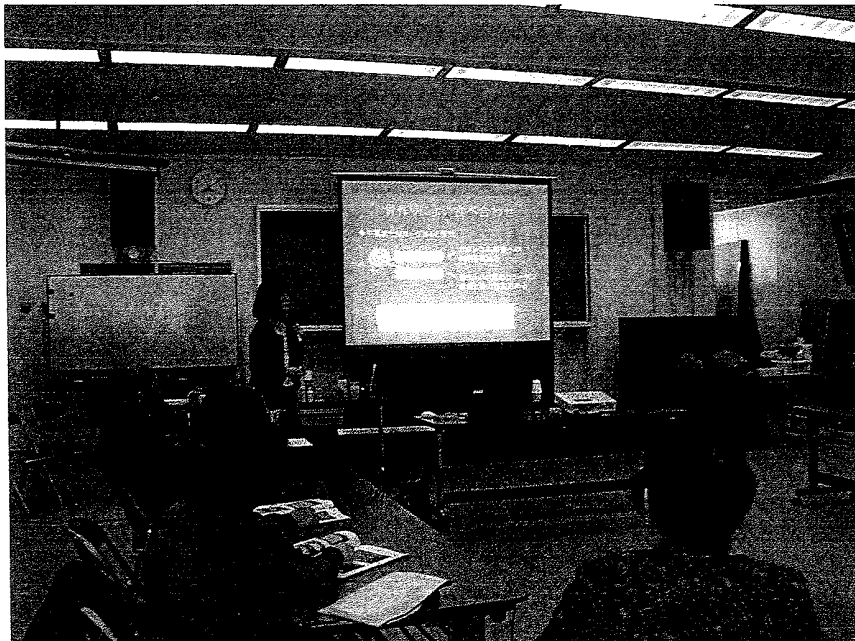
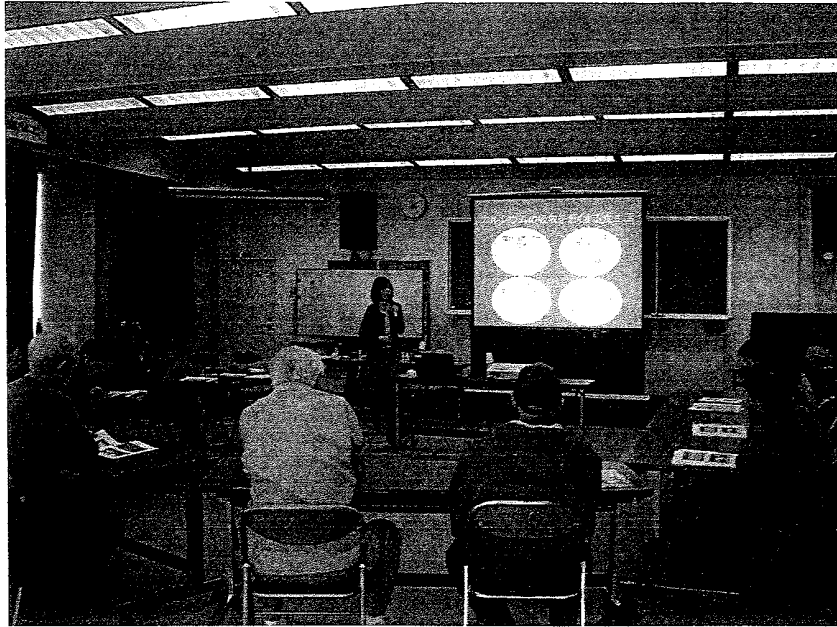
※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講座 お口の健康講座（通所型介護予防事業：口腔機能向上プログラム）
担当者名	前田 朝美
主催（依頼） 団体等	板柳町地域包括支援センター
実施日時	平成 24年 12月 11日（火曜日） 9：50 ～ 11：30 まで
実施場所	板柳町公民館 視聴覚室
対象者の内容 及び参加人数	町内在住の二次予防事業対象者（将来、要支援・要介護状態になるおそれのある高齢者） 約15名
講座・講義 内容の概略 （費用等も）	<p>.....</p> <p>板柳町地域包括支援センターによる口腔機能向上プログラムとして年6回行われている「お口の健康教室」の中の「第2回食事や栄養についての講話」を担当した。事前に大学で打ち合わせを行い、参加者の特徴や他の教室の内容について確認をした。テーマは「食べ合わせで効率アップ健康長寿の栄養学」と題し、パワーポイントを使って行った。食べ合わせのイメージがつかみやすいように食材を使った実験を取り入れ、また、少人数であったため、参加者の疑問に答えながら進化した。写真撮影及び実験を円滑に行うため、田中夏海先生に補助を依頼した。</p> <p>.....</p> <p>実験用食材代 1,094 円と交通費 1,050 円は、板柳町地域包括支援センターに負担していただいた。</p> <p>.....</p>
この行事に 関する感想 （センター行 事全体に関し てでも良い）	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。



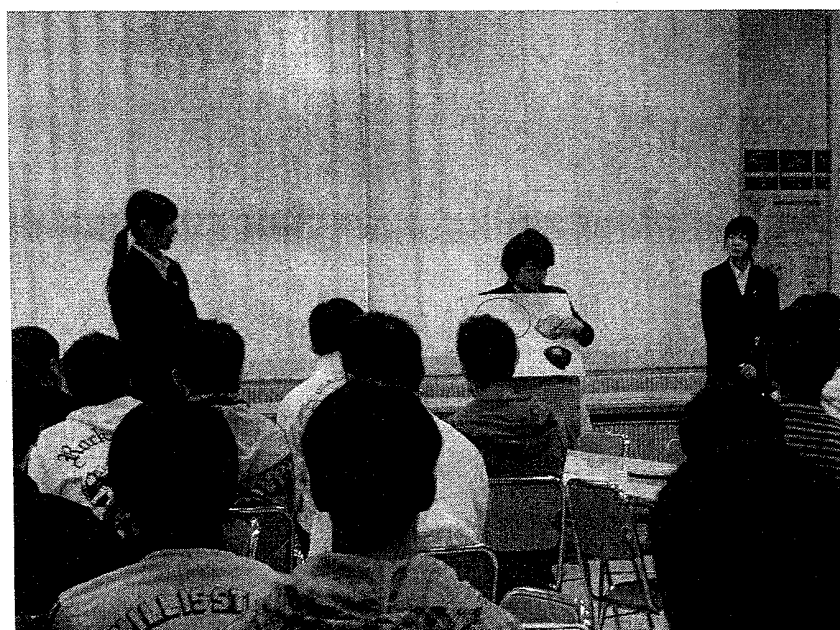
平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	出前講座 食や健康に関する講話
担当者名	前田 朝美
主催（依頼） 団体等	青森県立青森第二高等養護学校寄宿舎
実施日時	平成 25年 1月 22日（火曜日） 15:30 ~ 17:30 まで
実施場所	青森県立青森第二高等養護学校寄宿舎 食堂
対象者の内容 及び参加人数	寄宿舎生69名 (男子46名、女子23名)
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>寄宿舎生を対象に、生活習慣病予防指導の一環として、食や健康に関する講話を実施した。事前の打ちあわせの際に、排便に問題があるということや野菜のとり方について指導してほしいとの依頼があり、テーマは「野菜はどれくらい食べればいいのか?」と題した。また、講話のみではなく、本学学生3名によるエプロンシアターを合わせて実施し、集中力を保てるよう工夫した。</p> <p>始めにエプロンシアターを行い、野菜を食べた後排便をするまでにどのように消化されていくかを伝えた。野菜の大切さを理解した上で、実際に野菜をどのくらい食べればよいか、またどのように工夫すればたくさん食べられるかという内容で講話を行った。生徒からの質問に答えながら、進行した。</p> <p>手伝いの学生3名は食育サポート部の学生に依頼した。</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

出前講義【 食や健康に関する講話 】担当 前田



タイアップ 事業

- 若者層向け惣菜パンの開発
- 家政学科作品展 めくもり
- 減塩粘性しょう油の試飲とその利用

平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	タイアップ企画 若年層向け惣菜パンの開発
担当者名	今村 麻里子 前田 朝美 花田 玲子 山田 和歌子
主催（依頼） 団体等	障害者就労支援事業所「パン工房 エイブル」
実施時期	平成24年 秋～
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>若年層向け惣菜パンの開発</p> <p>○バーニャ☆ぽてと</p> <p>○豆乳deベジグラタン</p> <p>「バーニャポテト」はこの商品開発当時、女子会メニューとして人気だったイタリアの野菜料理「バーニャカウダ」からヒントを得て開発した一品。秋冬メニューなのでほくほくのジャガイモを使用し、バーニャカウダソースをかけて焼き上げた。アンチョビの塩味とニンニク、オリーブオイルの香りが食欲をそそる。120円 236kcal</p> <p>「豆乳deベジグラタン」は健康志向に配慮して、ヘルシーな豆乳を使って考え出された。県産大豆100%の豆腐屋の豆乳（系列の施設で作っているもの）を使ったグラタンパン。隠し味の白みそが青臭さを抑えるため、豆乳が苦手な方でもおいしく食べられるよう工夫した。120円 198kcal</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し てでも良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

24年度

社会福祉法人七峰会



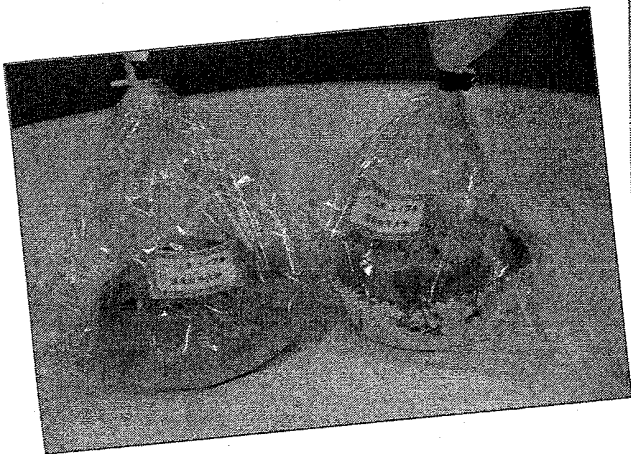
☆☆☆ パン工房エイブル ☆☆☆

パン販売期間のお知らせ



毎週木曜日 11:45～12:30 に
パンの販売をします。

今年度の販売は11月15日(木)～
2月7日(木)までです！



左:バーニャ☆ぽてと
右:豆乳deベジグラタン



障害者就労支援事業所と東北女子大

共同で新作パン開発



販売開始から学生らが新作パンを買い求めた

低カロリー、低価格な2品 構内販売で即完売

弘前市の就労継続支援B型・生活介護事業所エイフルは同市の東北女子大学と共同で低カロリー、低価格の新しいパン2品を開発した。15日には同大学で訪問販売を行い、大勢の学生や市民らが買い求め、新作のパンはあっという間に売れ切れる好評ぶりだった。

(油川修一)

同事業所は障害者の一般就労へ向けた訓練と社会参加を目的にパン製造を中心にさまざまな業務を展開。事業で得た収益はコストを差し引き、利用者の給与に充てている。開発の企画段階で若年層のパンの購入が極端に少ないことが判明し、食育に力を入れて同大学に協力を依頼。「学生が考えた学生のためのパン」をコンピュータの今村麻里

子講師とゼミに所属する学生がアイデアを練った。ゼミ生からは「価格を安く」「ヘルシーでおいしいものを」などの意見が多数集まり、価格設定と品質の調和に難航。試行錯誤の末、豆乳を使ったグラタンパン「豆乳deベジグラタン」とアンチヨビやニンニクなどを使用したイタリヤ料理のパーニャカウタ風ソースで仕上げた「パーニャほて」との2品

を完成させた。この日は午前11時半の販売開始直後から学生や市民らが列をつくり、約20分で完売。パンを購入した同大家政学部家政学科2年の蓬畑文香さんは「コンビニで買って食べるとカロリーが高く、値段も高い。この機会にぜひ利用したい」と話した。

同事業所の利用者で製造と販売を担当した成田人美さん(40)は「製造途中で苦労することがたくさんあったが、完売してうれい。もっと持ってくれ

ばよかった」と笑顔をみせた。販売は当面、毎週木曜日の午前11時半から12時半まで同大学で行う。

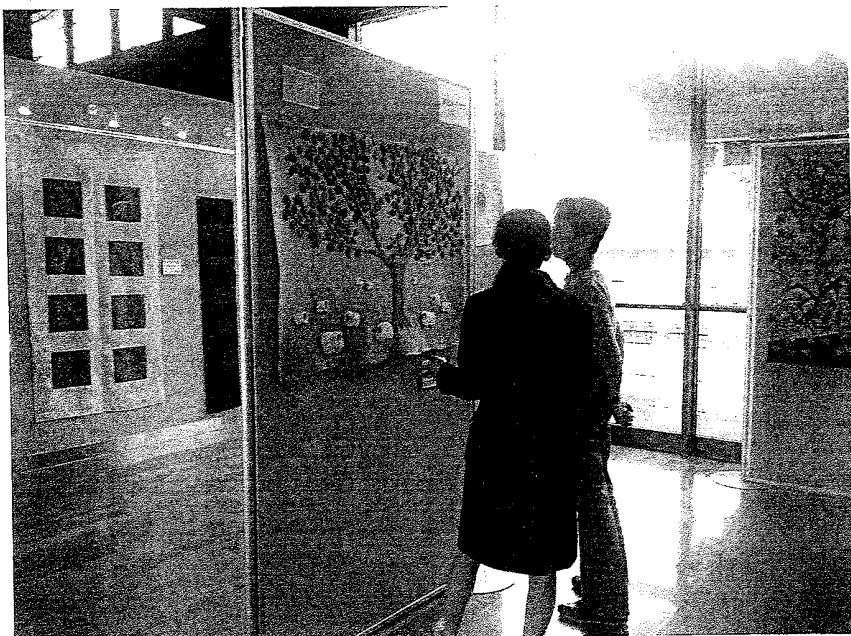
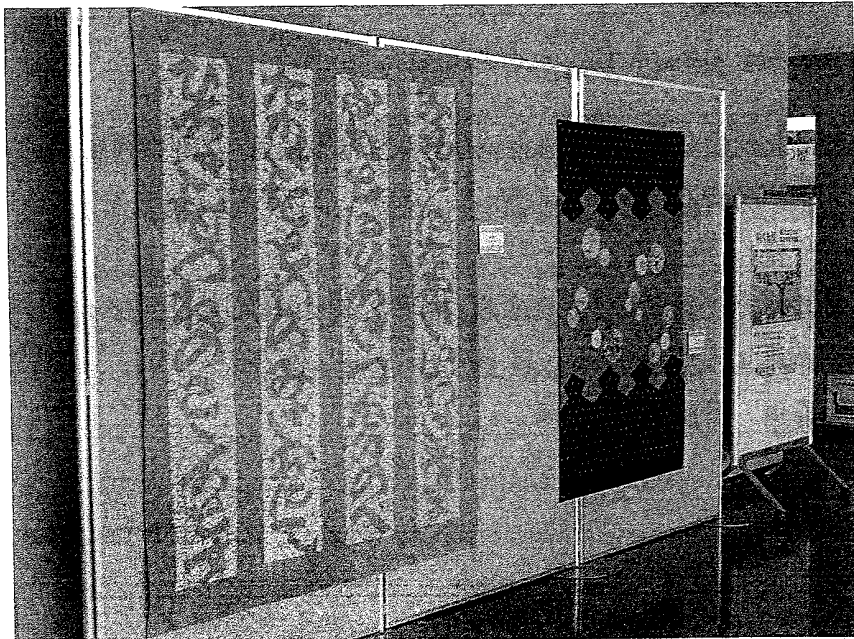
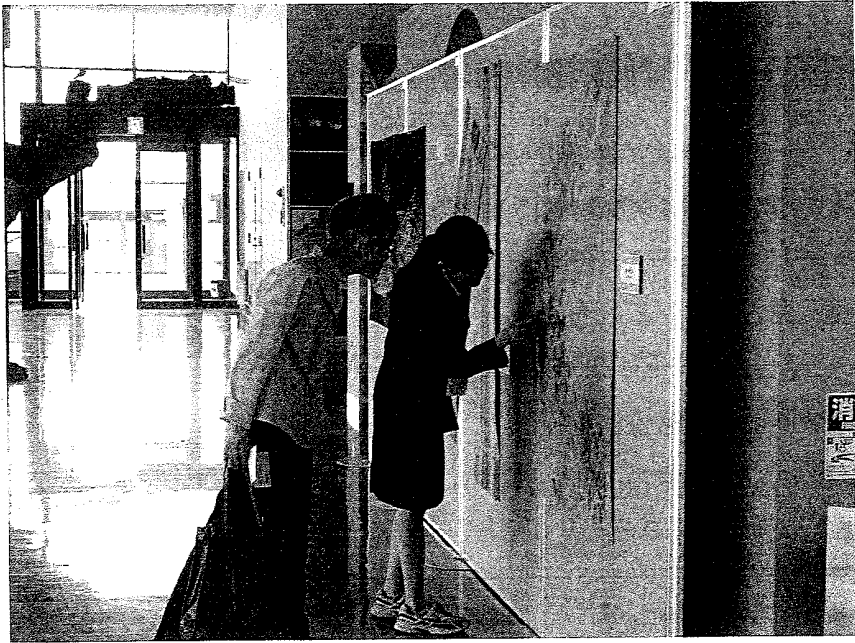
平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	タイアップ事業 家政学科作品展 めくもり
担当者名	葛西美樹、工藤寧子
主催（依頼） 団体等	青森市浪岡交流センター「あびねす」
実施日時	平成24年 6月 2日（土曜日）～ 6月 28日（木曜日）9:00～19:00まで
実施場所	青森市浪岡交流センター「あびねす」
対象者の内容 及び参加人数	一般
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>【作品点数】: 21点</p> <p>【展示作業日】: 6月1日9時～12時 家政学科3年生13名、教員4名</p> <p>【作品入替日】: 6月19日9時～12時 家政学科2年生14名、教員2名</p> <p>【説明スタッフ】: 延べ人数20名 家政学科3年生9名、2年生11名(土日のみ)</p> <p>【搬出日】: 6月1日9時～12時 教員4名</p> <p>【来場者数】: 約120名</p> <p>【費用】: 54,833円</p> <p>※6月21日からは短期大学被服科の作品も展示</p> <p>青森市のバックアップもあり、テレビや新聞でもとり上げられたお陰で、幅広い層の来場者に来て頂き、大学を知ってもらうことができました。また、市民の方々と学生スタッフがふれあったことで成果をあげることが出来、作品展から得られる効果が大きいことがわかりました。</p>
この行事に 関する感想 (センター行 事全体に関し ても良い)	

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

タイアップ事業 【 家政学科作品展 ぬくもり 】



平成24年度 地域資源活用研究センター行事 実施報告書

行事の名称	タイアップ事業 減塩粘性しょう油の試飲とその利用
担当者名	蓮井 祐二
主催（依頼） 団体等	全国栄養士養成施設協会
実施日時	平成 24年 10月 20日（土曜日） 9:00 ~ 16:00 まで
実施場所	東北女子大学 学園祭
対象者の内容 及び参加人数	東北女子大学学生 一般市民 500名
講座・講義 内容の概略 (費用等も)	<p>酸性多糖類を使用した減塩粘性しょう油を開発し、しょう油の機能性について説明し、かつ、この減塩粘性しょう油を試食してもらい、他の薄口しょうゆや濃口しょう油と比較してもらった。</p> <p>青森県民は塩分の摂取量が最も多く、減塩粘性しょう油を利用することで食生活の改善と短命県の返上のために役立つことを述べた。</p> <p>費用 75,000円</p>
この行事に 関する感想 (センター行事 全体に関して でも良い)	<p>地域資源活用研究センター活動は、我々の研究活動がスムーズに行えるように様々な情報を提供してくれる点で大変良い。開発した商品等について検討していただき、大学の商品として世に出やすいようにサポートしていただければ大変ありがたいです。</p>

※一行事、一葉に記入願います。

※複数の場合は、用紙のコピーをお願いします。

タイアップ事業 【 減塩粘性しょう油の試飲とその利用 】

